

NSTにおける歯科医師の役割と 口腔管理について

吉田 将 律^{† 1) 2)} 吉川 博 政²⁾ 福永大二郎²⁾
 沖 永 耕 平^{1) 2)} 福泉公仁隆³⁾

第73回国立病院総合医学会
 (2019年11月8日 於 名古屋)

IRYO Vol. 75 No. 4 (323-327) 2021

要 旨

国立病院機構九州医療センター（当院）栄養サポートチーム（Nutrition Support Team：NST）は2004年に発足し、歯科医師は摂食嚥下機能評価を担当するため2006年からNSTに参加している。施設によってはNSTとは別に摂食嚥下をサポートするチームが結成されているが、当院ではその役割もNSTが担っており、NST回診中に歯科医師が摂食嚥下機能評価のため嚥下内視鏡検査（videoendoscopic examination of swallowing：VE）を行っている。NSTにおける摂食嚥下および口腔管理の重要性が認められ、2016年の診療報酬の改定からNSTに歯科医師が参加した場合、従来の栄養サポートチーム加算に加え、歯科医師連携加算が算定できるようになった。さらに、2020年の診療報酬改定において経口摂取回復促進として多職種チームによる摂食嚥下リハビリテーションの推進が明記された。NSTにおける歯科医師の役割には、「口腔衛生管理」、「口腔粘膜疾患の早期発見・治療」、「咀嚼機能の回復」、「摂食嚥下機能評価、リハビリテーション」が上げられ、多様化してきている。今後もわれわれ歯科医師は、医師、看護師、管理栄養士、言語聴覚士、歯科衛生士、薬剤師など多職種と協力してその役割を果たして行かなくてはならない。

キーワード 栄養サポートチーム、口腔管理、摂食嚥下、嚥下内視鏡検査

はじめに

栄養サポートチーム（Nutrition Support Team：NST）における摂食嚥下および口腔管理の重要性が認められ、2016年の診療報酬の改定からNSTに歯科医師が参加した場合、従来の栄養サポートチーム加算に加え、歯科医師連携加算が算定できるよう

になった。口腔管理は口腔清掃状態を改善し、感染、誤嚥性肺炎予防を目的とした口腔衛生管理から義歯調整や摂食嚥下リハビリテーションなどを含めた口腔機能管理まで多岐にわたる。NSTにおける歯科医師の役割には口腔衛生管理はもとより口腔粘膜疾患の早期発見・治療、咀嚼機能の回復、摂食嚥下機能評価、リハビリテーションすべてを担当しなければ

1) 国立病院機構福岡東医療センター 歯科口腔外科, 2) 国立病院機構九州医療センター 歯科口腔外科, 3) 国立病院機構九州医療センター 消化器内科 † 歯科医師

著者連絡先：吉田将律 国立病院機構福岡東医療センター 〒811-3195 福岡県古賀市千鳥1-1-1

e-mail：yoshidamasanori116@gmail.com

(2020年7月1日受理, 2021年4月16日受理)

Role of the Dentist and Oral Management in NST

Masanori Yoshida¹⁾²⁾, Hiromasa Yoshikawa²⁾, Daijiro Fukunaga²⁾, Kohei Okinaga¹⁾²⁾ and Kunitaka Fukuizumi³⁾,

1) NHO Fukuoka Higashi Medical Center, 2) Department of Dentistry, Oral and Maxillofacial Surgery, NHO Kyusyu Medical Center, 3) Department of Gastroenterology, NHO Kyusyu Medical Center

(Received Jul. 1, 2020, Accepted Apr. 16, 2021)

Key Words：Nutrition Support Team：NST, oral management, swallowing, videoendoscopic examination of swallowing：VE